

■ 目標値未達成の要因について

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

〔1〕

成果測定指標	単位	R 6 年度目標値	R 6 年度実績値	目標値との差
鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型 ETC利用率	%	25.0	19.6	△5.4

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応
①	ネットワーク型ETC(ETCX)に登録可能な法人向けカードが少ない				鳥飼仁和寺大橋有料道路をご利用いただいている企業様から、ネットワーク型ETC(ETCX)に登録できないとの声をいただいております。登録可能な法人向けカードが限られていることが理由として考えられる。					 R6年度において、登録可能な法人向けカードも数社増えたが、引き続き、定期的に会議を開催し、ETCX運営会社に登録可能な法人向けカードを増やすよう求めるとともに、ネットワーク型ETCを導入している全国の道路公社で構成される推進協議会で国へ普及促進の要望活動を行う。
	関連項目名	－	単位	－	R6当初想定値	－	R6実績値	－	差	
②	利用頻度の少ないお客様へのメリットが少ない				ネットワーク型ETC(ETCX)ご利用のお客様に対し、利用回数に応じて、割引率が上がるサービス「まいど割」を導入しているが、CS調査等の結果から利用頻度の少ないお客様の割合が多く、「まいど割」によるメリットが少ないことや現金でも特に不便を感じておられないこと等から、現金利用のお客様が多いと推測される。 R6年度は、料金所などでの広報活動や利用頻度が少ない利用者もターゲットとした『鳥飼仁和寺大橋有料道路 ETCX 3 周年記念キャンペーン』を実施し、現金からネットワーク型ETC(ETCX)への転換を図ったが、目標値の達成には至らなかった。					 ETCXの特徴であるキャッシュレスやタッチレス等の利便性を周知するとともに今後も現金利用者向けのETCX登録キャンペーンを実施し、現金からETCXへの転換を図っていく。
	関連項目名	－	単位	－	R6当初想定値	－	R6実績値	－	差	